

特集

四日市の
子育て支援

表紙「四日市の心に残る風景」

しゅうぞう
堀川菖蒲園の風景



四日市の 子育て支援

従来、妊娠から出産、乳幼児の健診などは健康部、保育園や児童手当、虐待防止に関することなどは福祉部、学童保育や補導などは教育委員会と、担当部局も市役所内の場所もまったく異なっていました。

そこで、縦割りの弊害をなくし、妊娠から出産、乳幼児、青少年に至るまで、途切れのない総合的な施策展開による子育て支援の充実を図るため、子どもに関する業務を集約、再編し、4月から「こども未来部」をつくりました。

今月は、四日市市の子育て支援を紹介します。

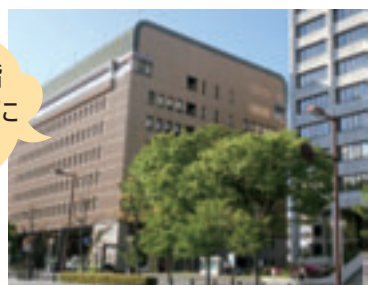
こども未来部

をつくりました！

核家族化の進行や、ひとり親家庭の増加など、子どもを取り巻く社会の変化によって、子育てに不安や悩みを持つ親が年々増加しています。安心して産み育てることができる環境を整えるため、四日市市で育つすべての子どもに対して、いろいろな角度から子育て支援を進めます。

子どもに関する相談は すべて こども未来部へ

総合会館3階
(市役所西隣)に
あります！



子育てに不安や疑問がある人たちの、「どこに相談したらいいのかわからない」「市役所のどこに行ったらいいのかわからない」といった不安や疑問を解消するため、子育てに関する相談窓口を、総合会館3階の「こども未来部」に集約しました。

■総合会館3階のこども未来部の体制

例えば、母子健康手帳の交付、乳幼児健診、予防接種、児童手当や子ども医療費の助成などは、こども保健福祉課で、保育園や幼稚園の入園や保育料の相談は保育幼稚園課で、また、子育て支援センターや学童保育所などの案内は、こども未来課で、それぞれ行っています。

こども
未来部

こども未来課
(青少年育成室)

保育幼稚園課

こども保健福祉課

(家庭児童相談室)
(発達総合支援室)

児童虐待の通告・相談は 家庭児童相談室へ

こども保健福祉課内にある家庭児童相談室では、「イライラして手をあげてしまいそう」「わたしのしんどさを受け止めて」など、子育て中の人の悩み相談や、ひとり親家庭の生活相談などを受けています。

また、家庭児童相談室は、児童虐待の通告・相談の窓口でもあります。地域で怒鳴り声が聞こえるなど、「もしかして虐待?!」という疑いを抱いたら、家庭児童相談室(☎354-8276)に連絡してください。



発達に関する相談は 発達総合支援室へ

四日市市では、発達に障害のある子どもの支援をするために、発達総合支援室で早期の対応、支援を行っています。発達障害は、症状がさまざまなため、正しく理解されないことも多く、家族は子育てをしていく上で孤立していく恐れがあります。

「子どもの発達が心配」など気になることがあるときや、どのように対処したらいいかわからないときなどは、発達総合支援室(☎354-8064)に連絡してください。発達総合支援室では、保健師・保育士・教員・心理判定員が、18歳までの子どもの発達について、相談窓口を一元化して、早期からの途切れのない支援を行っています。

また、こども未来部には、発達上の問題や障害のある子どもに療育・保育を行ったり、その家族に対する育児や養育についての支援を行ったりする「あけぼの学園(西日野町4070-1)」もあります。

出産前に

パパママ教室 (月1回)

助産師等が妊娠中の健康管理などについてお話しします。参加者は、赤ちゃんの人形を用いた沐浴体験や、妊婦ジャケットを着用する妊娠模擬体験などができます。



誕生直後を応援

こんにちは赤ちゃん訪問

生後1～3カ月の赤ちゃんがいる市内の全家庭にお伺いし、四日市市の子育てに関する情報をお届けしたり、子育てについての疑問にお答えしたりしています。



「産後の不安がありますか」などと促してくれたので、その後も質問がしやすかったです。

健やかな発育に

育児相談 (月1～2回)

身長・体重測定と、希望する人には、助産師による母乳相談、歯科衛生士による歯の相談、栄養士による栄養相談、保健師による発育相談などを行っています。



悩んでいたことについてきめ細かいアドバイスがもらえました。大丈夫って言ってもらえて、安心できました。

パパも みんなで

虫歯予防に

歯ハハの教室 (月3回)

2歳以上4歳未満の幼児と保護者を対象とした教室です。むし歯についての話を聞いた後、お子さん全員に歯科健診を、そして希望者にはフッ素の塗布や歯磨き指導を行っています。



成長に合わせて

幼児健診

(1歳6カ月児・3歳児)

1歳6カ月と3歳6カ月を迎えてから受けてもらう集団健康診査です。問診、身体計測、発育相談などを行っています。



離乳食の情報を

乳幼児食教室

月齢によって、5～8カ月児と9～12カ月児の2つに教室を分け、発育に応じた離乳食についての話、調理実演を行い、保護者は試食もできます。



〈このページに関するお問い合わせ〉 こども保健福祉課 ☎354-8187

パパを応援

子育てマイスター養成講座

平成22年度から、子育て世代の男性を対象とした子育てに関する講座を実施しています。パパの子育てへの参加を促し、育児を楽しむ「笑っている父親」を増やすため、今年も9月から講座を始めます。詳しくは広報よっかいち7月下旬号をご覧ください。



入園前の幼児に

あそび会 あそぼう会

保育園や幼稚園にまだ入園していないお子さんと保護者に遊び場を提供しています。保育園、幼稚園などで行われています。園によって開催する曜日や時間が異なりますので詳しくは市ホームページをご覧ください。

詳しい情報ははこちらから



親子で楽しめる

児童館 (市内4カ所)

18歳までのお子さんと保護者が利用できます。楽しく遊べるように、季節の行事、手芸、クッキングなどが企画されています。



ママも 利用しよう!

乳幼児を持つ家族に

子育て支援センター (市内16カ所)

主に乳幼児(0~3歳児)とその保護者が気軽に利用し、交流や育児相談ができる場、子育て情報の提供の場として、支援活動をしています。



こんな相談も
やっています

よかパパ相談 (月1回)

市内の子育て支援センターでは、「親の子育てマイスター」認定者による「よかパパ相談」を実施しています。詳しくは、橋北子育て支援センター(☎332-4527)へ。

子育て支援センター 利用者の声

子どもと向き合える時間です

田中由美さん

ここに来るといろいろな遊びをしてくれるし、家のおもちゃだけだとマンネリ化してしまうので、外の遊具も充実している塩浜子育て支援センターはとてもいいです。

また、家にいると家事をしてしまいがちですが、ここに来たら、子どもと向き合う時間を持つことができ、他のお母さんたちと話せたり、情報交換もできます。これからももっと来たいと思います。



〈このページに関するお問い合わせ〉 こども未来課 ☎354-8069

子育て応援@四日市

幼児期から児童期の子どもの育ちを支えるとともに、子育てと仕事の両立や共働き世帯の子育てを応援し、地域の子ども・子育てのためにみんなで協力します。

0歳児から就学前の乳幼児をお預かり

保育園

保護者が仕事や病気などの理由により、家庭での保育ができない場合に入園することができます。園によって対象年齢は異なりますが、0歳児から就学前までの子どもが通園しています。また、早朝や夕方までお預かりする長時間の保育や日曜日・祝日にお預かりする休日保育、そして、仕事や病気の時などに利用できる一時保育などがあります。

満3歳から5歳児の幼児をお預かり

幼稚園

公立幼稚園では、4歳児と5歳児、私立幼稚園では、園によって異なりますが、満3歳から5歳児までの子どもが入園できます。幼稚園では、小さいお子さんと保護者を対象として、あそび会を実施しており、私立幼稚園のなかには、早朝や夕方の長時間保育、長期休暇中の保育を行っている園もあります。

子育て応援をしてほしい人と預かる人を結び付け

ファミリー・サポート・センター

子育てを応援してほしい人(依頼会員)と、子育てを応援したい人(援助会員)で構成される会員組織です。四日市市は、三重県で最初に立ち上げました。保育園や学校の開始前や終了後に子どもを預かったり、休みの時に預かったりします。サポート活動は、原則として援助会員の家で行われます。利用料金は1時間当たり700円からで、交通費などは実費になります。

〈問い合わせ先〉体験ひろば☆こどもスペース四日市 ☎323-0023

火～土曜日 8:30～19:30(日・月曜日・祝祭日・年末年始休み)

放課後の児童をお預かり

学童保育所

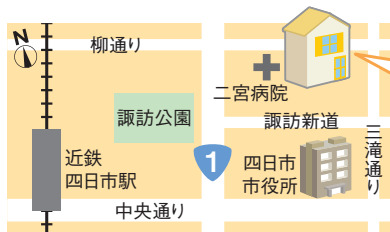
仕事などの理由で放課後、土曜日や夏休みなどに保護者が留守となる家庭の児童が通っています。四日市市では地域の運営委員会などが運営を行っており、現在、市内に40カ所あります。

授業のある日は、小学校から学童保育所に行って、学童保育所で指導員のもと、宿題をしたり、遊んだりしています。学童保育所では、異年齢の友達ができるとともに、地域行事への参加や、掃除・整頓など自分のことを自分でする習慣付けなど、さまざまな体験ができます。

病気療養の幼児、児童をお預かり

病児保育室「カンガルーム」

病気療養中で、まだ保育園や小学校などの集団生活ができないお子さんを、一時的にお預かりします。「カンガルーム」では、専用の保育室において、保護者に代わって、保育士や看護師など専門スタッフが適切な保育、看護を行いながら、療養中のお子さんを見守ります。



病児保育室
「カンガルーム」
四日市市中部8-17
☎351-4152



ひとまり大きく
成長しよう!

ジュニアリーダー・サブリーダー養成講習会

ジュニアリーダー(中学・高校生)・サブリーダー(小学5、6年生)とは、子ども会などの子どもたちに対し、遊び相手になったり、野外活動を指導したりする、青少年のボランティアです。ジュニアリーダー・サブリーダーになるには、市が主催するジュニアリーダー・サブリーダー養成講習会を受講する必要があります。キャンプやレクリエーションなどを楽しく体験しながら、地域の子どものお兄さん、お姉さんとして活躍する「ジュニアリーダー」を目指してみませんか?



〈問い合わせ先〉
青少年育成室 ☎354-8247

地域でも
応援

できる人が、できるときに、
できることから…

子どもたちを健やかに育てていくためには、家庭・地域・学校・市が一体となって取り組む必要があります。子どもたちを見守る大人が増えると、子育てや教育に関心が高まるとともに、大人自身が今まで培ってきた経験や知識を子育てに生かすことができます。また、子どもたちを中心として、地域にいろいろな世代のつながりができ、交流も生まれます。



民生委員による
「子育て広場」
(神前地区)



大変な多胎児の育児を
少しでも楽しく!
多胎児サークル
「ひまわりクラブ」
(連絡先) 葛山絹子
☎090-4869-8755



地域住民による登下校の見守り
「日永地区 子ども見守り
ボランティア」

四日市の未来はここから変わる!

子どもたちが、豊かな人間関係の中で、自分の能力を生き生きと伸ばしていけるよう、大人たちは最善の努力をする必要があります。四日市市で子ども時代を過ごせてよかったと、大人になったときに感じてくれるように、こども未来部は、市民の皆さんとともに、子育て支援をしていきます。



市川こども未来部長

編集後記

取材に訪れた各施設で出会った子どもたち、お母さん、お父さんたちの笑顔はとても素敵でした。私も、仕事を精一杯頑張らつ、子どもたちと過ごす時間をたくさんつくって、子どもたちと一緒に笑っている母親になろうと思いました。

(こども未来課 永田、保育幼稚園課 大西、こども保健福祉課 吉川、広報広聴課 堀田)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

こども未来課 ☎354-8038 FAX 354-8061

保育幼稚園課 ☎354-8173 FAX 357-5260

こども保健福祉課 ☎354-8083 FAX 354-8061

広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974

一緒に 食べると おいしいね



生活様式が多様化し、家族そろって食卓を囲む機会が少なくなってきました。今回、家族や友人たちと食を共にすること「共食」について改めて考え、自分の生活を見直し、一緒に食事をする機会を増やしてみませんか。

共食とは

「共食」とは、家族や友人たちと食卓を囲んで一緒に食事を取りながらコミュニケーションを図ることを言います。このコミュニケーションの中で、食事の楽しさを実感することをはじめ、食事のマナーを学んだり、みんなで一緒にのものを食べることから偏食を防ぐことにつながるなど食育の原点とも言われています。

リラックスした雰囲気で“共食”を

地域活動栄養士 食育推進会議委員 ませ ちず 馬瀬 智寿さん



育児相談などで、共食の大切さを意識するあまり、食事の時にお子さんへの注目が行き過ぎてしまい、食べづらい状況をつくってしまっているのではと感ずることがあります。そういうときは、肩の力を抜いて、楽しい話などをしてリラックスした雰囲気がつくれるといいと思います。

仕事などで、食事と一緒に食べることが難しいようでしたら、おやつと一緒に食べたり、作ったりすることもお勧めです。一緒に食べている時に、会話が弾むことで食への関心にもつながりますし、お子さんとのコミュニケーションも広がります。

難しく考えずに、できる範囲で一緒に過ごし、一緒にのものを食べる機会をつくっていただけたらと思います。

保育園で 共食

内部保育園の保育士の声



コミュニケーションが広がり 楽しい雰囲気

保育園で子どもたちと一緒に食べていると、さまざまな姿を見ることが出来ます。

おかずを見て、「これ食べるとパワーつくよ」とか、「どうやってつくっ

たんやろ」と会話したり、「家でも食べたことがある」と家の食事と比べる子どももいます。また、食事のにおいや味などを子どもたち同士で伝えあったり、残さず食べたお皿を見せ合ったりと、さまざまなコミュニケーションが繰り広げられ、食べることを通して友達との間に楽しい雰囲気がつくられています。

共食は食べている姿を 見せることから

共食は、まずは、子どもの前で食べている姿を見せることから始

まると思います。親や大好きな友達が食べている姿を見て、「お母さんや大好きな〇〇ちゃんが食べたものを自分も食べてみたい」と安心しておいしく食べることにつながります。

保育園では友達以外にも、保護者やおじいちゃん、おばあちゃん、地域の人と一緒に食べる機会もついています。子どもたちは、いろいろな人と一緒に食べることでたくさんの発見や楽しさを得ることができ、成長していくのだと感じています。

大人も みんなで一緒に おいしい

共食が大切なのは、子どもだけではなく、大人も一人の食事が長く続くと、食欲が落ちてしまったり、簡単なもので済ませるようになってしまうことがあります。また、仕事などで忙しい毎日を送っている人は、楽しい食事の時間を過ごすことが新たな意欲につながることもあります。

時には友人と一緒に食事をしたり、食のイベントに参加して、コミュニケーションを図ってみてはいかがでしょうか。

外来生物から 本来の生態系や生活環境を守る

意識して
見ることから
始めましょう

6月5日は環境の日、
6月は環境月間です

生物多様性を知る

地球上には動物や植物など、さまざまな生き物がいて、同じ種でも個体差があり、それらがさまざまな生態系の中で互いに関わり合いを持ちながら生きています。これを「生物多様性」といいます。

私たち人間も地球上に住む生き物の一つであり、さまざまな生き物から恩恵を受けながら生きています。

私たちが健康で豊かな暮らしを続けていくためには、こうした自然界のさまざまな命や関わり合いを持つ「生物多様性」を守っていくことが大切です。

近年では国外から持ち込まれた外来生物が、本来の生態系や私たちの生活環境を脅かしています。私たちは生物多様性を理解し、それを守っていく第一歩として、普段の生活の中で、周りの生物を意識して見ることから始めましょう。

今回は市内で見掛ける外来生物のセアカゴケグモとオオキンケイギクについてお伝えします。これらは、生態系に重大な影響を及ぼすとして、外来生物法で「特定外来生物」に指定されています。本来の生態系や生活環境を守るため、ご注意とご協力をお願いします。

市内でも発見!!

セアカゴケグモの毒に注意



セアカゴケグモは、おとなしく攻撃性がないので、素手で直接触れなければ、かまれることはありませんが、毒を持っていますので、絶対に素手で触らないようにしてください。除草作業時は軍手などを必ず着用してください。万が一かまれた場合は、患部を水で洗い、できるだけ早く病院で治療を受ける必要があります。

特徴

成熟した雌の体長は、約0.7～1cm。全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に赤色の縦条がある

※上写真の個体は未成熟で、成熟すると白い斑紋はんもんは消える

※雄は、腹部の背面は灰白色で毒を持っていない

生息場所

排水溝の周り、マンホールの裏、ブロック塀や石の隙間、花壇など

駆除の方法

市販の殺虫剤などで駆除、または、踏みつぶす

初夏に道路沿いや空き地などで咲く

オオキンケイギクを 育てないで



北米原産のオオキンケイギクは一度定着すると在来の野草を駆逐してしまうため、特定外来生物として指定され、栽培、運搬、販売などが禁止されています。家に持ち帰ったり、育てたりしないでください。

特徴

- 5～7月ごろに黄色の花を咲かせ、姿はコスモスに似ている
- 花びらの先にはギザギザがある

駆除の方法

花が咲く5～7月ごろに、根から抜き取り、2～3日、天日にさらすなどをして枯死させる。その後ビニール袋などに密閉して燃やすごみに出す

野鳥のヒナを 拾わないで



4～7月ごろは野鳥の子育てシーズン。この時期、野鳥のヒナが地面に落ちていることがあります。市にも問い合わせがありますが、見つけてもそのままにして、すぐにその場を離れましょう。

巣立ちしたばかりのヒナはうまく飛べないので、地面に降りてしまうことがあります。しかし、近くに姿が見えなくても、親鳥はヒナのもとへ戻って世話をします。人がヒナのそばにいと、かえって親鳥はヒナに近寄れませんので、そのままにしておいてください。



老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。
CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
放送日時：6月11日～7月10日 6：40・20：30
(土・日曜日は6：40を9：00に変更)

○300年以上の伝統と技を守り続ける

江戸時代から「日永の宿」は、東海道と伊勢参宮街道の分岐点(追分)で、毎日、多くの旅人が往来し、賑わっていました。当時、農家で農閑期に作られていた「日永うちわ」は、お伊勢参りの土産物の一つとして、好評を得ていました。明治初期は、十数軒の「日永うちわ」の製造業者が軒を並べる街道文化の最盛期で、弊社も明治14年に創業しました。



その後、鉄道(関西線)が開通するなど、東海道を歩いて旅する人が激減して、街道文化は衰退の一途をたどり、「日永うちわ」の製造業者

は、現在、一軒となりました。製造をやめたら、300年以上の伝統と技が途絶えるので、商売が続く限り、細く長く続けていきたいです。

○竹のしなりが生む、やわらかい風

「日永うちわ」は、丸い竹をそのまま柄に使う「丸柄」が特徴で、手に持つと心地よい感触がします。釣りざおにも使用する、丈夫でしなりがある「女竹」を使い、節の間隔が30cm以上ないとうちわにはできません。その竹を細かく割き、交互に袋状に編んでいるので、竹が弓のようにしなります。その竹のしなりが生む、やわらかい風は、他のうちわとは全く違います。



いな がき よし ひで かず み
稲垣嘉英さん・和美さん

300年以上の歴史があり、三重県指定伝統工芸品でもある「日永うちわ」。ただ一軒の製造業者として、伝統と技を守りつつ、時代に合わせた新たな挑戦を続けている株式会社稲藤の稲垣嘉英さん、和美さん夫妻にお話を聞きました。

○守るだけではなく、攻めていく

あおぐだけのうちわなら山ほどあるし、長い歴史があるだけでは飽きられると思い、付加価値の高い「日永うちわ」を開発することを考えました。

これまでに、国の伝統工芸品「伊勢形紙」や県の伝統工芸品「松阪木綿」とコラボレーションしたものや、「日永うちわ」の特徴のかご状の空間に香り玉を忍ばせた「香るうちわ」や「虫よけうちわ」など、心地よさや優雅さを追求したうちわを開発しました。

今後も、世の中のニーズにマッチしたものを開発していきたいです。



○風の違いを体感してほしい

うちわは、日本の夏に欠かせないものでした。近年、エコな涼をとる道具として見直されています。

今年の夏は、「日永うちわ」のやわらかい風を体感してみてください。

問い合わせ先

株式会社稲藤

(☎345-1710 FAX347-1379)

有料広告掲載欄



マスコットキャラクター「ココロくん」

LPガスと太陽光発電など、複数のエネルギーを有効に組み合わせ、エコと快適を両立したライフスタイルを提案します。

エネルギーと住まいの

朝日ガスエナジー株式会社

TEL: 059-332-2311

四日市市西坂部町4789-2

URL <http://www.asahigas.co.jp>

E-mail info@asahigas.co.jp

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

四日市の 地区自慢

八郷

伊坂ダムの雪景色



『自然・触れ合い』 ～世代を超えた絆を育むまち八郷～

八郷地区には、自然の景観に引かれて県内外から年間30万人もの人が訪れる伊坂ダムがあります。また、地区住民の触れ合いを目的とした一大イベント「八郷フェスタ」を毎年、開催しています。昨年5月からは、八郷の歴史を訪ねる歴史紹介もスタートしました。今回は、この3点について紹介します。

自然・歴史・遊びの宝庫、みんなが触れ合う「伊坂ダム」！

なんといっても伊坂ダムは、自然が織り成す四季折々の景観を背景に、イベントや運動などを満喫できる触れ合いスポット。

ウォーキングやサイクリングを楽しむことはもちろん、運動広場やテニスコートを利用してイベントをしたり、マウンテンバイクや変り種自転車を楽しんだりできます。また、山口誓子の句碑もあり、文化スポットにもなっています。魅力いっぱいの伊坂ダムに、皆さんぜひお越しください。



レンタサイクル所前でピース！

伊坂ダムの景観は、八郷地区ホームページ内八郷百景名作写真展
(<http://www.yasato.org/category/1487354.html>) でご覧ください。

子どもから大人まで地域が一つになるイベント「八郷フェスタ」！

思えば市制111周年記念事業として開催したこのイベントも、今年で6回目を数えるところとなりました。

継続する事業の活性化は、どんな行事でも検討課題となりますが、そんな課題に一石を投じてくれたのが、子どもたちの企画・立案によるイベントを中心とした開催への変革でした。もちろん「子ども会議」開催などでの大人の支援はいままでもありませんが、子どもたち自身が終始一貫して積極的に取り組んでくれた姿にたいへん感動させられました。

皆さん、ぜひとも子どもたちに協力をお願いしてみてもはどうですか！きっと新しい発想に出会えると思います。



「子ども会議」の様子



第5回「八郷フェスタ」の様子

八郷の歴史を訪ねる「八郷の歴史紹介」をスタート！

「地域の歴史について知りたい」「教えて欲しい」といった言葉が、よく聞かれるようになりました。これを機会に、昨年5月、残存資料や聞き取り調査結果などをもとに、後世に語り継がれる「八郷の歴史」冊子の発行を目指した活動を開始しました。

詳しくは、八郷地区ホームページ内八郷歴史研究会 (<http://www.yasato.org/category/1840499.html>) をご覧ください。



広報ひとみ掲載「八郷の歴史紹介Vol.1」

問い合わせ先

八郷地区市民センター
(☎365-0259 FAX363-1741)

CTYインターネット

新サービスCTYタブレット

パソコンを持っていなくても
タブレットで手軽にインターネットを楽しめる！
お得なサービスが登場しました！

※CTYタブレットのご利用にはCTYインターネットサービスのご契約が必要となります。
詳しくはお問い合わせください。

【受付】月～土(祝日除く) (窓口)9:30～17:30 (電話)9:00～19:00

0120-30-6500

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



～「子育て支援センター」について～

未就園のお子さんを安心して遊ばせることができ、子育ての仲間が見つけれられるよう、市内16カ所で子育て支援センターを開設しています。

子育て支援センターでは保育士が常駐し、安全に遊ぶよう遊びの環境を整えたり、育児相談を受けたりしています。また、日時を決めて保健師や栄養士による相談や、父親の

「子どもの遊び場」「健康」「相談」などのお知らせや呼びかけを、子育て世代に向けて発信するコーナーです。

子育て相談（よかパパ相談）を実施しているところもあります。

赤ちゃんを授かり、夫婦で悩みながら名前を考え、出生届を出し、安心したのもつかの間、退院したその日から、おっぱいを飲まない、泣きやまない、寝ないなど、初めての育児は戸惑いや不安がいっぱいです。



「親子ふれあいひろば」の様子

また、弟や妹が生まれると新たな悩みが出てきます。お近くの子育て支援センターへ来て、子育て中の仲間と何でも話してみませんか。話してみると結構同じ事で悩んでいることが分かり、ホッとします。

ご利用にあたって、予約や利用料は要りません。詳しくは、下記までお問い合わせください。

子育て支援センターでは、子育て世帯が安心して子どもを産み育てられるよう、今後も支援を進めていきます。

問い合わせ先

こども未来課 子育て支援係
(☎354-8069 FAX354-8061)



～近鉄内部・八王子線沿線の文化財を訪ねて～

日永駅を降りて北に歩くと、日永朝市（偶数日の8:30～12:00）の開催場所があります。朝市の前を東に旧東海道の信号交差点まで進みます。そこを左に曲がれば、すぐに大宮神明社の鳥居が目に入ります。日永駅からの所要時間は約5分です。

「輪くぐり神事」とは、正式には「那護志大祓」と言い、毎年6月30日の夜、半年間の日常生活の罪や穢れを払い落として無病息災を祈るために行われる行事です。現在も宮中を

今回紹介するのは、日永地区にある大宮神明社で行われている「輪くぐり神事」です。

はじめ、地方の各神社で受け継がれています。なかでも大宮神明社の那護志大祓は古く、300年以上前から続けられています。旧東海道筋から境内にかけて多くの露店が並び、大勢の人で賑わいます。

神社の境内に茅の輪を立て、注連



輪くぐり神事の様子

縄で四角に囲い、その中で神主が「大祓の祝詞」をよみます。神事が終わると注連縄が取り払われ、人々が8の字に3回輪を回ります。また、氏子の家々には半紙で作った人形が配られ、氏子は人形で体をなでて身の穢れを人形に託し、その人形を神社へ持っていきます。昔は、茅の輪と人形を鹿化川に流していたそうです。

近鉄内部・八王子線に乗って日永駅周辺の大宮神明社などを訪ねてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ先

社会教育課
(☎354-8240 FAX354-8308)

有料広告掲載欄

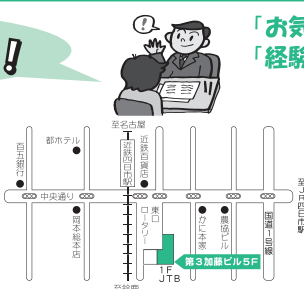
お困りではありませんか？
早めのご相談を！

例えば…

- 交通事故・示談の話が進まない…
- 借金・毎月の返済に追われています…
- 相続・兄弟でもめてしまっています…
- 離婚・調停や裁判の対応はどうすれば？
- その他 慰謝料・不動産・会社法務など

近鉄四日市駅から徒歩1分！南改札口(東口)すぐ！

四日市市浜田町5番27号 第3加藤ビル5階
(1階にJTBが入ったビル)



「お気軽にお電話ください」 土曜日や夜間も対応可(要予約)
「経験を積んだ弁護士が迅速＆丁寧に対応します！」

◆交通事故・借金問題のご相談は無料です◆

◆一般法律相談料(初回) 30分 5,250円(税込)◆

《予約制》☎059-350-2080

尾市法律事務所

弁護士 尾市淳二 (三重弁護士会所属)

(財)日弁連交通事故相談センター三重支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

お知らせ

市議会

議長に土井数馬議員 副議長に竹野兼主議員
監査委員、議会運営・各常任委員会委員も決まる

5月開会議会が、5月14日・15日に開かれ、平成25年定例会の会期を平成26年4月30日までの352日間と決定し、議会役員が選出されました。(敬称略)

問議会事務局 (☎354-8257 FAX354-8304)

■議会選出監査委員 川村高司 杉浦 貴

■議会運営委員会委員 (◎…委員長 ○…副委員長)

◎三平一良 ○中森慎二 伊藤修一 小川政人 加納康樹 川村幸康 笹岡秀太郎
杉浦 貴 豊田政典 中川雅晶 藤井浩治 毛利彰男 諸岡 覚

■常任委員会委員 (◎…委員長 ○…副委員長)

総 務 ◎毛利彰男 ○伊藤嗣也 荒木美幸 石川勝彦 石川善己
竹野兼主 中村久雄 藤井浩治 森 康哲

教 育 民 生 ◎日置記平 ○森 智広 小川政人 土井数馬 豊田政典
中川雅晶 中森慎二 山本里香 芳野正英

産 業 生 活 ◎加藤清助 ○樋口龍馬 伊藤修一 伊藤 元 加納康樹
小林博次 笹岡秀太郎 早川新平 村山繁生

都 市 ・ 環 境 ◎川村幸康 ○山口智也 川村高司 杉浦 貴 野呂泰治
樋口博己 三平一良 村上悦夫 諸岡 覚

予 算 ◎小川政人 ○中川雅晶 ほか議長を除く全議員

決 算 ◎諸岡 覚 ○早川新平 ほか議長および議会選出の監査委員を除く全議員



土井数馬議長



竹野兼主副議長



市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。



三世代交流田植え (4月27日 内部地区)

北小松町では、地元の長寿会が中心となり、地区の小学生やその保護者に米作りの苦労や収穫の喜びを伝えるために、平成17年から三世代交流の田植えを行っています。参加者は、足を泥だらけにしながらも、丁寧に苗を植えていき、収穫の時期に思いをはせていました。収穫された米は、秋祭りで行われる餅つきなどに使われる予定です。



多度まつり (5月5日 海蔵地区)

晴天となったこどもの日、海蔵地区の三ツ谷多度神社で、多度まつりが行われました。この日は、朝から2台の子どもみこしが三ツ谷多度神社を出発し、地域の皆さんへの日々の感謝の気持ちを込めて、「わっしょいわっしょい」という掛け声とともに、まちを練り歩きました。



有料広告掲載欄

くわしん

カーライフローン

平成25年4月1日(月)～平成25年9月30日(月)

【適用金利】

5 年 以 内 年 1.70%～年 2.50%
5 年 超 8 年 以 内 年 2.70%～年 3.50%

※ 詳しくは、右記店舗窓口までお問い合わせ下さい。

■お使いみち

新車・中古車の購入、車検・車の修理費用、免許取得費用他、お車に関する資金。

■ご融資金額

500万円以内

■ご返済期間

3ヶ月以上8年以内



桑名信用金庫

四日市西支店
TEL 351-2577

生桑支店
TEL 332-8181

羽津支店
TEL 332-2233

大矢知支店
TEL 364-3311

川越支店
TEL 364-8811

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

「人権の世紀のために」

人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



1948年、国連総会において「世界人権宣言」が採択されました。その第2条の中で、すべて人は、人種、皮膚の色、性、言語、宗教などいかなる事由による差別も受けることがないとされています。人類は、二度にわたる大戦などを反省し、人権が尊重される自由で平和な世界を目指してきました。

【人権が尊重されるまちを目指して】

本市では、人が人として尊ばれる明るく住みよい社会を築くため、1992年に「人権尊重都市」を宣言しました。

人権尊重の意識や行動が根づくこ

とを目指し、人権問題を身近なものとして考えていただけるよう、毎年「人権大学あすてっぷ」や「じんけんフェスタ」などを開催し、多くの市民の皆さんに参加していただいています。

さらに、地域においても、懇談会や学習会を行っていただくなど、市民主体の人権啓発活動も広がりを見せており、人権に関する理解は着実に高まっています。

しかし、その反面、インターネットによる人権侵害が発生するなど、人権課題も多様化してきています。

21世紀は人権の世紀と言われて

います。一人ひとりの人権が守られるよう、家庭や職場において人権について考えたり、地域の人権啓発活動に参加したりして、人権を大切にする社会づくりをみんなで進めま



昨年度の「人権大学あすてっぷ」の様子

問い合わせ先

人権センター

(☎354-8609 FAX354-8611)

表紙こぼれ話

今回は、堀川菖蒲園（三ツ谷町）のショウブとハナショウブです。



堀川菖蒲園は、国道1号西、海蔵川堤防北側の堀川遊水地にあります。

園内には、36品名約5,000株のショウブやハナショウブが植えられ、橋の架けられた散策路や休息所も設けられています。

■おまけショット

堀川菖蒲園以外にも、市内では、南部丘陵公園北ゾーンの四季の花園で、色鮮やかなハナショウブとアジサイの競演を楽しむことができます。

南部丘陵公園のハナショウブ



日ごろから地域の人たちに草取りや株分けなどをして育てられたハナショウブは6月初旬ごろになると紫や白などの花を咲かせ、この時期に合わせて「菖蒲まつり」（今年は5月26日～6月9日）も開催されます。

皆さんも初夏の訪れを感じに出かけてみませんか。

問い合わせ先

広報広聴課

(☎354-8244 FAX354-3974)

有料広告掲載欄

入ってよかった

建労

随時加入者
募集中

四日市支部

三重県建設労働組合四日市支部

四日市市ときわ5丁目1-8

☎(059)354-1531(代)

三建国保

出産育児一時金（42万円）
葬祭費（本人10万円・家族7万円）
高額療養費、施設利用補助、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助（3万円）
脳ドックに対する補助（2万円）など

組合独自の
建設労働者の
健康保険

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 313,217人〔4月末日現在（前年比－857）〕 ■火災件数 8件〔4月分（前年比－4）〕 ■交通事故件数 919件〔4月分〕